

## 令和4年第1回定例会一般質問

日 時 2月24日(木曜)、28日(月曜)、3月1日(火曜)、2日(水曜)  
 いずれも午前10時から  
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

発言順	議員名	質問日(予定)
1	吹春 やすたか	令和4年2月24日(木曜)
2	小林 正樹	
3	五十嵐 京子	
4	宮下 誠	
5	渡辺 ふき子	
6	沖浦 あつし	
7	白井 亨	令和4年2月28日(月曜)
8	村山 ひでき	
9	遠藤 百合子	
10	清水 がく	
11	坂井 えつ子	
12	斎藤 康夫	令和4年3月1日(火曜)
13	古畑 俊男	
14	水谷 たかこ	
15	湯沢 綾子	
16	安田 けいこ	
17	水上 洋志	
18	渡辺 大三	令和4年3月2日(水曜)
19	岸田 正義	
20	たゆ 久貴	
21	片山 かおる	
22	森戸 よう子	

# 一般質問の通告について

発言順

1

令和4年2月10日  
(西暦2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

吹春やすたか

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、小金井市内の交通に関して問う。	
(1) 「電動キックボード」利用時の注意喚起をしないか。	
2、小金井市の施策について問う。	
(1) ゴミ拾いアプリを導入しないか。	
(2) 成人式の新成人への対応を見直さないか。	
(3) 国立市で実施した男性職員へ「生理研修」を導入しないか。	
3、小金井市の小中学校施設について問う。	
(1) これからの学校プールと水泳授業を検討しないか。	
4、小金井市の防災について問う。	
(1) 防災体制をさらに拡充させないか。	

# 一般質問の通告について

発言順

2

令和 4年 2月10日  
(西暦 2022)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 小林正樹

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>関野町地域の課題解決について</u></p> <p><u>小金井市の最北に位置する関野町は、高齢化が進むなか公共交通不便地域でもある。一方、小金井公園と玉川上水の名勝小金井桜並木と隣接し、新築住居には小さなお子さん連れの家族も増えている。</u></p> <p><u>ア) 通学路等の安全確保の為に「防犯カメラ」の設置を</u> <u>イ) ICTにより「小金井 江戸の農家みち」直売所の監視支援を</u> <u>ウ) 悲願の「郵便ポスト」の設置を小金井市から要望していただけないか</u> <u>エ) 「デマンド交通」用いて交通不便の解消を</u> <u>オ) 「見守り移動販売支援事業」による</u> <u>安心して、歩いて暮らせるまちをつくらないか</u> <u>カ) 東京都の生産緑地買取・活用支援事業、都市農地保全支援プロジェクト</u> <u>を活用し、積極的に農地を守らないか</u> <u>キ) 小金井市指定無形民俗文化財「関野町餅つき」を広めないか</u></p> <p>2. <u>子どもの医療費助成について</u></p> <p><u>東京都は1月28日、中学3年生までとしている医療費助成の対象を高校3年生まで拡充する方針を発表した。東京都としては2023年度の開始をめざすが、実施には、各自治体に於いて方針を定めシステム改修など準備を行う必要がある</u></p> <p><u>ア) 中学校3年生までの医療費助成の所得制限撤廃へのスケジュールは</u> <u>イ) 高校3年生までの医療費無償化の方針を定めないか</u></p> <p>3. <u>期日前投票の充実について</u></p> <p><u>期日前投票の投票者数は年々高まっている。更なる充実を図る必要がある。</u></p> <p><u>ア) 期日前投票所の運営見直しの検討状況は</u> <u>イ) 東小金井駅開設記念会館(マロンホール)について</u> <u>土曜日の期日前投票を可能にしないか</u></p>	

# 一般質問の通告について

発言順

3

令和 4年2月10日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

五十嵐京子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 文化財センターである「浴恩館」の歴史を語り継ごう 小金井の語り継ぎたい歴史の中に、現在小金井市文化財センターとなっている昭和5年に開館した「浴恩館」の歴史がある。教育の基本である、自分で考えるという教えを進めた教育の場としての価値を見直そう。</p> <p>1) 文化財センター主催の講座などの回数を増やさないか。 2) 子供たちには郷土の歴史で取り上げたり、見学の時に話すなど実施を。 3) 文化財センターとしての機能充実を図る必要があるのでは。 4) 環境も素晴らしく、しっかりとした維持管理と、再度水を流すなどの検討をしないか。</p>	
<p>2 自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の進捗状況について問う 市役所でのDXの推進は市民の生活にも大きく寄与し、歓迎されると思われる。</p> <p>1) 令和2年12月には自治体DX推進計画、令和3年7月にはDX推進の手順書において、国から示されたところで、小金井市のDX推進方針を定めようとしているところと聞くが、進捗状況は。 2) 引っ越しワンストップについて、その全体像は、各課の連携の在り方の検討は進んでいるか。 3) 新庁舎の建設にどのように生かすのか？</p>	
<p>3 新庁舎建設に向けて、保管書類の削減・整理について改めて問う コロナ感染症拡大以前に、庁内の保管書類について7割削減を目標に検討していたものの、目標に至っていない、と聞いたことがあるが、ここでDXの導入が検討されており、再度の検討を進めるべきと考える。</p> <p>1) 何故目標に届かなかったのか。現在はどのように考えるか。 2) 豊島区はコロナ以前から大幅な削減を実施しているが、その状況は把握しているか。 3) 議会事務局が管理している、過去からの議事録は永久保存とも聞いているが、デジタル化との兼ね合いをどのように考えているか？</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

4

令和 4年 2月 10日  
(西暦2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

宮下 誠

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1、<u>新しい時代のごみ拾いについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) <u>ある高校生からの相談を紹介</u></li><li>(2) <u>市はボランティアの方々の善意に報いよ</u></li><li>(3) <u>一斉清掃など市民の取り組みを見える化し、裾野を広げる仕組みを</u></li><li>(4) <u>先進自治体(港区等)を参考に、市として専用WEBページを開設するなど、ごみ拾いアプリを導入した環境美化に取り組まないか</u></li></ul> <p>2、<u>地域における新たなスポーツ環境の整備充実にむけて</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) <u>ある中学生からの相談を紹介</u></li><li>(2) <u>中学校の部活動について根拠法令を明らかに</u></li><li>(3) <u>スポーツ庁の審議会議事録から感銘を受けたこと</u></li><li>(4) <u>市内の中学生を対象に、部活動に関するニーズ調査を実施しては</u></li><li>(5) <u>公益財団法人日本スポーツ協会による公認スポーツ指導者マッチングサイトを活用しては</u></li><li>(6) <u>大学が、スポーツ指導や事業を専門とする組織を設立して、スポーツを活用した地域貢献を推進している事例について調査検討しないか</u></li><li>(7) <u>スポーツ庁の推進する「地域運動部活動推進事業」の動向は</u></li><li>(8) <u>地域スポーツを担当する部局や地域スポーツに係る組織や団体、学校等がスムーズに連携できるよう会議体を設置しないか</u></li><li>(9) <u>学校関係者や保護者、スポーツ団体をはじめ、広く市民に対し、適時適切に、取組みについて広報していただきたい</u></li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順	5
-----	---

令和 4 年 2 月 14 日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

渡辺 くるみ

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第 60 条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1, 今こそ子どもの健全な育ちを支援するための施策の充実を 新型コロナウイルス感染症は子供の学びや成長にも大きな影響を与えている。 昨年「東京都こども基本条例」が制定され、政府は 23 年度「こども家庭庁」を創設する。</p> <p>① 子どもが健やかに育つ権利を守る取り組みについて問う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから寄せられる SOS 等の現状について</li> <li>・「こどもオンブズパーソン」の担う役割について</li> <li>・子どもの抱えるあらゆる相談に対応できる体制を整えるべき</li> </ul> <p>② 再び問う、中学校の人権教育の教材に B 型肝炎訴訟の副読本の活用を 二度と同様の被害が起こらない社会の仕組みを考え、感染者への偏見や差別をなくすために、東京都教育庁からも積極的活用が示されている B 型肝炎訴訟の副読本を、教育委員会が推奨し活用しないか</p> <p>2, 懸案の危険な交差点の安全対策や前原 1 丁目から東八道路へ抜ける道路の整備を</p> <p>① 小金井街道と東八道路の交差点の安全対策について 右折レーンがないため、自転車や歩行者と車の事故が頻繁に起こっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の拡幅により、右折レーンの設置を早期に進めるべき</li> <li>・歩車道分離方式の信号機にするなど工夫できないか</li> </ul> <p>② 前原町 2 丁目から東八道路に出られる道は少なく、一方通行や舗装のされていない道路など、地域住民の利便性が問題になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七軒家通りから東八道路への一方通行の出口は、三鷹方面にしか行けないため、小金井街道に回するには多磨町 2 丁目の信号で U ターンしなくてはならない。こうした現状について市の見解を問う</li> <li>・七軒家通りから南に東八道路まで抜けられる道路が必要ではないか</li> <li>・リハビリテーション病院西側道路の舗装の見直しについて問う</li> </ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

6

令和 4年 2月 14日  
(西暦 2022)

(宛先)  
小金井市議会議長 様

小金井市議会議員

(署名)

沖浦あつし

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 高齢者等のくらしの安心のために <b>特殊詐欺被害防止に向けた本市の協力体制について</b> (1)市内認知件数、被害額等の推移と傾向 (2)自動通話録音機の貸出しの実績と効果 (3)一歩進んだ対策の必要性について</p> <p>2. 用途を逸脱しない範囲で近隣市が実行している <b>防災行政無線の活用について</b> (1)ふれあいメロディ(定時放送)に市歌(あるいは愛唱歌)を登用することについて再度問う (2)管理運用要綱等の変更について(他市事例を参考に) (3)日中昼間の放送について</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

7

令和4年2月14日  
(西暦2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

白井亨

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1. 「参加と協働」のこれまでとこれからについて話をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、「参加と協働」が必要なのか。また、第4次基本構想下でどれだけ進んだのか</li> <li>・若者の市民参加の現状と課題は。若者議会等、施策に反映できる会議体設置の必要性は</li> <li>・パブリックコメントが作業として行われている実態がある。制度の見直しが必要ではないか</li> <li>・decidimを参考に、デジタル化を踏まえた民意を反映する仕組みの構築を検討しないか</li> </ul> <p>【質問意図】市民参加が形骸化していると考えられる事業を目の当たりにする。第4次基本構想で市政運営の軸に位置付けられた「参加と協働」はこの10年でどのように進んだのか。また、若者の市民参加やパブリックコメントにおける課題、デジタルを活用した新たな手法の検討も提案し、進化を望む。</p>	
<p>2. 学校連絡のICT活用と、学校トイレ3K解消へ動こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における、お便りや連絡帳の紙ベースのやり取りにおける課題とは</li> <li>・事務的作業のICT活用による効率化が、教員の負担軽減に繋がるのではないか</li> <li>・保護者と教員へ連絡手段のICT化についてアンケート、またはテスト導入をしてはどうか</li> <li>・小学校のトイレの清掃のあり方を含めて、3K問題解消の手立ては</li> </ul> <p>【質問意図】過去に同様の一般質問をしたが進んでいない。教員負担軽減と保護者の利便性は両立することが事例を交えて共有されたはず。まずアンケートを取ることやどこかの学校でテスト導入をして検証するなど今後動きの進展を期待する。また、学校トイレの3K問題は洋便器化だけ進めれば良い訳ではなく、日頃の清掃が課題ではないか。</p>	
<p>3. 強引すぎる公立園の廃園着手の問題点とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年4月入所申請・決定状況について、前年との比較でわかることは</li> <li>・他自治体でやっているあたり前の議論を抜きにしてまで、公立園の廃園を急ぐ根拠は</li> <li>・全会一致で採択した陳情書の陳情者から提出された抗議文をどのように受け止めているのか</li> <li>・2/25 締切りの市立保育園条例(案)パブリックコメントの結果公表等の今後予定は</li> </ul> <p>【質問意図】あまりにも強引な手法で、利用者や市民の声を無視してまで廃園を早く進めたい市の考え方がわからない。詳細は委員会でもやってもらうが、この点について市の考え方を問う。</p>	



# 一般質問の通告について

発言順

8

令和4年 2月 14日  
(西暦2022)

(宛先)  
小金井市議会議員長

小金井市議会議員

(署名)

村山ひでこ

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>自治会・町会の加入促進について</b></p> <p>(1) 現状の確認</p> <p>①現在の加入率と必要性</p> <p>②これまでの活動と支援策</p> <p>(2) 新たな工夫</p> <p>①新興住宅と集合住宅に対する取組</p> <p>②促進条例等に対する考え方と課題</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

9

令和4年2月14日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

遠藤百合子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1, 大事な方を亡くされた方への心のサポートをしていくために グリーフケアを施策の中に取り入れないか</p> <p>人は自分にとってかけがえのないものを喪失した時、これまで経験したことのない非常に深い悲しみに襲われる。こうした心の奥底からほとぼしる、あるいはじわじわと湧き出るような感情や反応は「グリーフ(悲嘆)」と呼ばれる。</p> <p>(1) グリーフケアの認識は</p> <p>(2) 施策として取り入れていかないか</p> <p>2, エンディングノートの考え方を実践していかないか</p> <p>(1) エンディングノートの捉え方は</p> <p>(2) 広めていくための考え方を</p> <p>3, 市民後見人制度の更なる活用を</p> <p>4, 安全な公園(広場)を目指して</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

10

令和4年 2月14日  
(西暦 2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

清水がく

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 「<u>北朝鮮当局による拉致問題等</u>」の市の取組みについて</p> <p>(1) 人権教育の取組みについて</p> <p>(2) 人権啓発への更なる取組みについて</p> <p>2. <u>防災への取組みについて</u></p> <p>(1) 自主防災組織（自主防災会）防災倉庫の在り方について</p> <p>(2) 商店会の防災への取組みへの市の対応について</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

11

2022年 2月 14日

(宛先)  
小金井市議会議員

小金井市議会議員

(署名)

坂井 えつ子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1 気候危機対策はまったなし！</b></p> <p>(1) 小金井市の削減目標設定及び“炭素予算”に対する見解を問う。 (2) 気候市民会議の設置を。 (3) 市公共施設からの温室効果ガス排出量は、2020年度目標値を達成できなかった。その要因と今後の方針は。</p> <p><b>2 増やそう、女性管理職。</b></p> <p><b>ジェンダーバランスの良い小金井市役所に！</b></p> <p>(1) 階級に求められる職責は。その職責を担う力をつけるためのアプローチは。 (2) 市役所管理職にもクォータ制の導入を。 (3) 市長に問う。理事者の女性比率は？これまで、及び今後の取り組みは。</p> <p><b>3 投票所で、有権者のプライバシーに配慮しよう。(その2)</b></p> <p>2021年第3回定例会で、投票所における本人確認は、氏名の読み上げに変わる確認方法にしよう。と提案した。</p> <p>(1) 期日前投票所での対応が示唆されていたが、実際はどう対応したのか。 (2) 今後の選挙での対応は。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

12

令和 4年 2月14日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 斎藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。  
記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 公共施設の維持管理について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(ア) 公共施設の維持管理の考え方を問う</li><li>(イ) 建築物の大規模修繕とは</li><li>(ウ) 建築物の長期修繕計画とは</li></ul> <p>2. 歳入確保について改めて問う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(ア) 国の財政と地方自治体の財政の違い</li><li>(イ) 市税、地方交付税、国・都支出金、市有資産の活用</li><li>(ウ) 日本経済と地方財政</li></ul> <p>3. 新型コロナ (オミクロン株) に対する考え方</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(ア) 国の政策に対して自治体としての対応</li><li>(イ) 自治体から国に対する主張</li><li>(ウ) 小金井市としての対策に関する考え方</li><li>(エ) 国の経済と市内経済への影響</li><li>(オ) うつ病や自殺の原因</li></ul>	



# 一般質問の通告について

発言順

14

令和 4年 2月14日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 水谷たかこ

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<b>1 本年4月からの「18歳成人」スタートに向けて</b>	
(1) 当市での取り組みを問う	
(2) 18歳の誕生日に、メッセージカードを届けないか	
(3) 他市の事例を参考に、若者に選挙立会人の呼びかけをしないか	
(4) 学校の中に期日前投票所を設置する、生徒会選挙の時に実際の投票箱を貸し出すなど、できることから主権者教育をはじめよう	
(5) 市内の高校・大学と協働で教材開発・実証実験等をすすめないか	
【趣旨】 いよいよ4月1日から18歳成人が施行となる。高校3年生相当の若者が、契約当事者となれる一方で、未成年として保護されなくなること等、懸念もある。令和3年6月定例会で審議した「ICTを活用した消費者講座」の実施状況等、課題を整理するとともに、この機をとらえて当市での取り組みなど考えよう。	
<b>2 これからの保育園の役割を考えよう</b>	
(1) 当市における「多様な保育ニーズ」をどのようにとらえてきたのか	
(2) 多様なニーズに対して、どのように取り組んできたのか	
(3) 一時保育の定員、利用人数の推移、課題をどう捉えているか	
(4) 0～2歳の「無園児」に対して、保育機会を保障しないか	
(5) 「マイ保育園」を中心に地域の子育て拠点として子育てを支えよう	
【趣旨】 昨年12月20日厚生労働省から「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会 取りまとめ」が公表された。そこでは、〇子育て負担の軽減する目的(レスパイト・リフレッシュ目的)での一時預かり利用促進、事前登録制度の推進、〇週1～2回預かる事業やICTの活用、〇インクルーシブ保育など、速やかに検討すべき課題が整理されている。子育て環境日本一をめざす小金井だからこそ、これらのテーマに積極的に取り組もう。	
<b>3 子どもの意見表明権の保障を考えよう</b>	
(1) 「小金井教育の日」生徒会交流の評価と今後の課題は	

# 一般質問の通告について

発言順

15

令和 4 年 2 月 14 日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 湯沢 綾子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 個人情報保護法の改正について	
令和3年の法改正に係り、本市の個人情報保護制度に及ぼす影響や	
制度の今後の在り方等についてお考えを伺いたい。	



# 一般質問の通告について

発言順

16

令和4年2月14日  
(西暦2022)

(宛先)  
小金井市議会議員長

小金井市議会議員

(署名)

安田けいこ

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1. 小金井の保育の質の現状と課題について</b></p> <p>公立保育園が50年以上積み上げてきた保育の実践は、小金井市全体の保育の質の向上に生かされているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保育の具体的内容について</li><li>・給食の指針について</li><li>・食物アレルギー対応について</li><li>・調理員の配置や待遇について</li><li>・公立園の廃園方針について</li></ul>	
<p><b>2. 原子力災害への対応について</b></p> <p>東日本大震災から11年。再び原発事故が起きた場合の対応について問う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安定ヨウ素剤の配布について</li><li>・水道水が汚染された場合の対応について</li><li>・小中学校の対応について</li></ul>	
<p><b>3. ゲノム編集食品について</b></p> <p>欧米諸国では「New GMO」（新しい遺伝子組み換え）と呼ばれているゲノム編集食品について日本では規制がない。安全性の認識を問う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学校給食への対応は</li><li>・福祉施設や学校で苗を育てることについて</li></ul>	



# 一般質問の通告について

発言順

18

令和 4 年 2 月 14 日  
(西暦 2022 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺大三

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p><b>1 庁舎建設は大幅コストダウンの実現を</b></p> <p>① 固定観念、「従来型」の発想、が庁舎建設コストを割高にしている。大幅なコストダウンを可能にするため、いくつかの具体的な試案を提示し、市長並びに担当の見解を問う。</p> <p>② 「防災拠点」として現設計には見過ごせない欠陥がある。</p> <p>③ 市民と議会の同意を得られる計画にすべく、具体的な対応(問題点の是正のための調査業務関連予算の提案)を急ぐべきだ。</p> <p><b>2 数値目標の放棄は理解できない</b></p> <p>① 1月17日、市長は「(仮称)行財政改革2025」の策定に関する方向性を議会に示した。その方向性とは、</p> <div data-bbox="159 1467 1220 1765" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>(1)「2020」には盛り込んでいた個別アクションプラン(実施計画)は「2025」では作成しない。</p><p>(2)「2020」では設定していた「経常収支比率90%を切る」との数値目標を放棄する。</p><p>(3)「2020」では設定していた「類似団体最少の職員数をめざす」との数値目標を放棄する。</p></div> <p>との目と耳を疑うような内容だった。</p> <p>きちんとアクションプラン(実施計画)を定め、また、財政指標や職員数に関しては数値目標を設定すべきだ。「具体的に何をやるか」も「数値目標」も設定しない「ダイエット(行財政改革)」は成功しないのではないか。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順	19
-----	----

令和 4年 2月14日  
(西暦2022年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 岸田 正義

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
子どもが子どもらしく、のびのびと育つまちづくりについて	
(1) 学童保育について	
(ア) 大規模化の対策について	
(イ) 指導員の処遇改善について	
すべての人が安心して自分らしく暮らせるまちづくりについて	
(1) 魅力ある公園づくりについて	
(ア) 現状の取組について	
(イ) 市民参加でつくる公園について	
(ウ) 公園マネジメント計画について	
(エ) 浴恩館公園の野外調理場について	

# 一般質問の通告について

発言順

20

令和 年 2月14日  
(西暦 2022)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

古川 又吉

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 子ども医療費無料化(義務教育就学児医療費助成)を充実させ、18歳まで拡充することを求める	
2 難聴の方への支援を拡充し、補聴器購入費への助成を求める	
3 社会福祉協議会の運営する「いこいの家」の売却に関して、市はどのように関わっているのかを問う	

# 一般質問の通告について

発言順

21

(宛先)  
小金井市議会議長

2022年 2月 14日

小金井市議会議員

片山かおる

発言通告書(一般質問)  
小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. <u>住まいの確保が厳しい人にやさしい居住支援を</u></p> <p>住宅マスタープランの改定が行われ、居住支援協議会の立ち上げが予定されている。住宅確保要配慮者への支援が十分に行える体制を市は整えるべきである。</p> <p>1) この機会に無料低額宿泊所や簡易宿泊所からの退所支援を行わないか。見守りも拡充すべきである。市内や市が利用している市外の無料低額宿泊所の中に、日常生活支援施設はあるか。</p> <p>2) 民間賃貸住宅借主への家賃補助制度を作り、住宅費負担の引き下げをはからないか。</p> <p>3) 民間賃貸住宅を借り上げて、みなし公営住宅制度を作らないか。その上で、住まいがない人への一時入居保護先を確保しないか。</p> <p>2. <u>学芸大の防災学習室と連携して原発事故の記憶を伝えないか。放射線副読本の問題について。</u></p> <p>1) 学芸大に防災学習室が開かれ、東日本大震災後の被災地の教育実践記録が編纂された。防災学習室と連携し、市民や子どもたちに被災の記憶、原発事故の問題などを伝える学習の機会を広げないか。</p> <p>2) 文科省は2021年12月、全国の小中学校に、福島原発事故による汚染水を海洋放出することを追記した「放射線副読本」に、復興庁による「トリチウムは飲んでも安全」チラシを挟み込んで配布した。小金井市の各学校はどのような対応をしているのか。原発事故汚染水の海洋放出については、福島県漁協などからも反対意見が出ている。原発安全神話を支え続けた放射線副読本のあり方については、批判が噴出している。東電の原発の電気を使い続け、事故の責任の一端を担うべき東京都民として、各学校での取り扱いは慎重にすべきである。</p> <p>3. <u>都立高英語スピーキングテストの中学校への影響について</u></p> <p>1) 来年度導入が予定されている都立高校の英語スピーキングテストの採点、入試の配点、個人情報、家庭の教育格差、吃音や場面緘黙などの個人特性と、その解消における配点問題や進路指導について、どのように把握し、対応しているか。来年度の導入については中止を求めないか。</p>	

